

**C 協働学習 (C 1)**

主な学習活動

野菜のことを伝え合い、類似点や相違点を見付ける。

**1 本時のねらい**

友達と自分の野菜の成長の様子を比べ、類似点や相違点について交流することを通して、自分の野菜が成長していることに気付くことができる。

**2 主に活用したICT機器・コンテンツ等**

ファイル共有

Zoom

電子黒板

**3 参考にしてほしいポイント**

野菜の種類別にカードの背景色を変えると視覚的に見やすく比較もしやすい。電子黒板のペンツールで印をつけながら発表すると、聞いている子どもに伝わりやすい。

| 段階場面     | 主な学習活動                   | ICT機器活用のポイント   |
|----------|--------------------------|--|
| 導入<br>展開 | 野菜のことを伝え合い、類似点や相違点を見付ける。 | Zoomで他校と交流することで、野菜作りや野菜観察の意欲を高めることができる。<br>電子黒板に野菜の記録カードを提示し、友達と比較しやすくする。類似点と相違点にペンで印を付けることで発表の観点を明確にすることができる。 |



葉はギザギザ！花は黄色だね！



葉は先が少しとがっているよ！  
花は白いね！

**4 活用効果**

野菜の成長を記録し蓄積することで、わずかな違いにも注意深く観察することができた。他校とのオンライン交流により、子どもたちの野菜作りや野菜観察の意欲が高まった。野菜の写真を繰り返し見直すことができ、比較も容易にできることから類似点や相違点を見付けやすかった。

**5 アドバイザーからのコメント**

この写真のように、葉っぱの形や花の色など、普段は見落としがちな特徴を注意深く観察できるのは、成長を記録したからなのだという説明がすばらしいです。よく観察したから、意欲が高まり、特徴も把握でき、疑問も生じ、深く学ぶことにつながります。  
(東京工業大学 赤堀侃司)

画像や映像によるデジタル記録は、目の前にある事実を切り取って残す際に有用に働く傾向があります。一方、心情など総合的に思いを表現していく場合は、描画する方が児童にとって表現しやすい可能性があります。目的や場面に応じた使い分けによって、ICTが効果を発揮しそうです。  
(福島大学 平中宏典)